

『きょうだいへの関わり』

自分の子どもたちには、きょうだい仲良くしてほしいですよね！きょうだい同士が仲良く過ごすためには、『親の関わり方』が重要になってきます。今回は、『仲良しきょうだいになる親の関わり方』を5つご紹介します。

①名前で呼ぶ

下の子が生まれると、いつの間にか上の子を「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」と呼ぶことが増えてしまいませんか？弟や妹が生まれても、**上の子は今までもおりにママ・パパに接してほしい**のです。

「さすがお兄ちゃんだね」という言い方も、お子さんによってはプレッシャーに感じてしまうこともあるので気をつけたいですね。

②きょうだい同士で協力できる遊びをする

小さいうちは別々で遊ぶことも多いと思いますが、ある程度大きくなってきたら**一緒に遊ぶ機会を用意しましょう！**

例えば…一緒に一つの作品をつくる・一緒にママの手伝いをする・子ども VS 大人の競争をする

協力することで、仲間意識や思いやりが育ちます！

③一人褒めたら、他の子も褒める

親は平等に褒めているつもりでも、子どもにとってはきょうだいの誰かが褒められたら、「自分は褒めてもらえない」と思いがち。

誰かを褒めた時には、小さなことでも同じタイミングで一緒に褒めてあげましょう！

④上の子を労う

きょうだいができたことで生活が一変してしまったのは、上の子です。よく「上の子を優先しよう！」と言いますが、現実的に難しいですよね…。

ですから、**労う気持ちだけは忘れずにいましょう。**

必ず下の子がいない場所で「いつもありがとう」

「大好きだよ」など、上の子を労う言葉をかけてあげましょう！

⑤ケンカはどちらにも共感&叱る

どちらかが怒られると子どもは不満を感じます。

まずはどちらの気持ちも共感し、どちらも叱ることが大切です。ケンカは一方的なものではない限り、お互いが悪いことがほとんどです。

どちらにも共感、そして叱るを徹底しましょう！

きょうだいと言っても性格も全然違う個々の人間です。気が合わない、交われないということもあるでしょう。

しかし、親が平等に接することを心がけていれば、きょうだいに対する見方や接し方は良い方向に向かっていくはずですよ。